

国の借金が増えた主な要因は？

1990年度

66.2
兆円
歳出



2019年度

歳出
99.4
兆円



1990年度と2019年度の予算を比較すると、

1990年度

66.2
兆円
歳出



2019年度

歳出
99.4
兆円



歳出が33.2兆円増加しています。

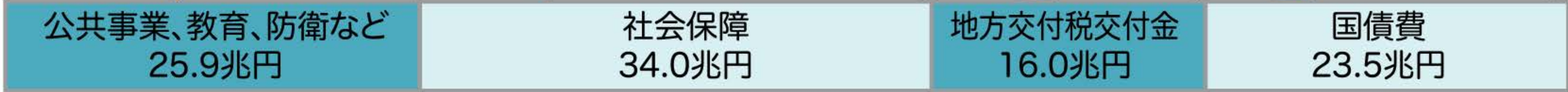
1990年度

66.2兆円
歳出



2019年度

99.4兆円
歳出



+0.9兆円

+22.4兆円
約3倍

+0.7兆円

+9.2兆円

そのうち、社会保障関係費が22.4兆円を占め、約3倍に増加しています。

1990年度

歳入

66.2
兆円

歳出



2019年度

歳出

99.4
兆円

歳入



一方、税金などの収入の増加は約7兆円にとどまるため、

1990年度

歳入

66.2
兆円

歳出



2019年度

歳出

99.4
兆円

歳入



歳出の増加は借金によりまかっています。

1990年度

歳入
66.2兆円
歳出

税収などの収入
60.6兆円

公債金
5.6兆円

公共事業、教育、防衛など
25.1兆円

社会保障関係費の増加分は

2019年度

歳出
99.4兆円
歳入

公共事業、教育、防衛など
25.9兆円

社会保障
34.0兆円

地方交付税交付金
16.0兆円

国債費
23.5兆円

税収などの収入
67.6兆円

公債金 31.9兆円

つまり、高齢化を背景として社会保障関係費が増加してきた分は、

1990年度

歳入
66.2兆円
歳出

税込などの収入
60.6兆円

公債金
5.6兆円

公共事業、教育、防衛
25.1兆円

社会保障関係費の増加分は



2019年度

歳出
99.4兆円
歳入

公共事業、教育、防衛
25.9兆円

今後、**将来世代**が返済

国債費
23.5兆円

税込などの収入
67.6兆円

公債金 31.9兆円

今後、将来世代が返済していかなければなりません。